



鬼脇「旭ヶ丘公園」オープン ～さくらを記念植樹～

議会だより



定例会12月会議

【主な記事】

- 一般質問 2～3
- 12月会議議案審議 4～6
- 行政報告 7
- 委員会レポート、編集後記 8

平成31年2月

NO182

一般質問



安楽議員

～人口減少の歯止め対策について～

安楽議員 人口減少問題については、我が町だけの問題ではなく全国の地方自治体が抱える大きな課題であります。やはり人口減少の歯止め策は雇用の確保が最重要課題であると思いますが、平成28年6月会議において、地方創生のための雇用の創出についての一般質問をし、販路や規模拡大に向けて支援する努力は惜しまない考えであり、また町としても新たな商品開発の推進に取り組んでまいりますとの答弁を頂いております。町の創生総合戦略も来年度で5か年計画の最後の年度に入りますが、町民から雇用につながるようなものづくりのアイデアの提供や、販路拡大等の支援の要請等具体的な動きはなかったのかまた現計画の終了後に引き続き新たな総合戦略は策定されるのか町長の所見を伺います。

町長 地方自治体における人口の減少は、日本の国の総人口が減少時代にある中で、将来的に地方自治体の存続にもかわる問題として平成の大合併を推進したり、広域定住自立圏構想、地方創生といった政策を打ち出しながら国が

財政支援をし各地方地域の振興を図っておりますが、多くの自治体が人口減少に苦慮している現状だと推察するところであります。本町においても離島という立地条件に加え、交通アクセス、医療、仕事場の確保、教育などという問題があり、中々人口減少に歯止めがかからない状況で、国立社会保障人口問題研究所によりますと2040年の本町の人口は1,550人と推計されております。また、生産年齢人口の減少も大きな社会問題であり、本町においても同様な状況であります。さて平成28年6月議会において、5番議員から地方創生のための雇用の創出についての質問の答弁も踏まえて申述させていただきますが、本町の人口の推移は平成10年度で4,076人でありましたが、20年後の平成30年10月末では2,510人で1,566人、約62パーセント減少しております。出生、死亡の自然減が470人減少、転入転出の社会減が1,096人減少で、高齢化率37.9パーセントと少子高齢化が顕著であります。雇用の創出を伴う販路や規模拡大については、海上輸送費支援

により負担軽減によって道外出店を実施したり、無料サンブルを提供、パート従業員の雇用、広告宣伝を実施、東京港区の連携事業など、また新たな商品開発の推進では何点かありましたが、大々的な販売には繋がっていない状況であります。雇用創出のための基幹産業の水産業は、地域経済を支える重要な産業で新たな漁業者確保に努め、総合戦略に則った雇用創出のため、栽培漁業、養殖漁業、漁業者担い手支援などを実施し、漁業新規就業者が平成28年から30年の3年間で11名おり、うち島外が6名就業しております。町民からの雇用につながるようなものづくりのアイデア、販路拡大などの具体的な要請は無かったかについては現時点ではありませんでしたと答弁いたします。新たなものづくりとしての商品、また事業としての発想は町内を含め多方面から聞かれますが具体的な計画とはなっておりませんが、今後の課題として研鑽しながら進めて参りたいと考えております。いずれにしても人口減少問題は町民の皆様方も懸念している問題であり、新年交礼会、商工会青年部との懇

支援のための政策を色々と打ち出してまいりますけれども、確かにそれを活用しながら大変喜んでもらえている部分はありませんけれども、果たしてそれが人口の出生率向上に繋がっているのかという事につきましては、追跡調査もしていませんので分かりませんが、れども、今後も色々と若者世代の定住のための政策等につきましましては、色々と考えている部分もありますけれども、それは予算の伴う事でございまして、ここで軽々に来年からこれをやるだとか、これを実施しますという事は言えませんけれども、この後また年明け等31年度の予算編成等もありますので、その中でまた新たな総合戦略に載っている以外の、そういうような人口減少問題に絡んだ政策があれば実施していきたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

(以上)



12月会議で審議された議件
 【案例制定】子育てサポート施設設置条例
 【案例改正】職員の給与に関する条例の一部改正など
 【一般会計補正予算(第4号)】各特別会計補正予算

■利尻富士町子育てサポート施設設置条例の制定

子どもの一時預かりや子育て家庭の交流の場を整備し、子どもを預け就労できる環境や子育て世代の育児負担の軽減を図るため、篤泊老人福祉ホームの一部を改築、その設置と管理に関する条例の制定

【原案可決】

質 疑

Q 戸嶋議員 利用料金や利用人数はどのようになっているのか。

A 福祉課長補佐 本条例は設置条例という事で使用料については謳っておりません。育児負担軽減の観点から施設の

使用料は無料としております。預かりは依頼会員とサポート会員それぞれがファミリーサポートセンターに登録して行うことになり、現在15名のサポート会員の登録があります。原則1人の支援員が1人の子どもを預かることとなります。利用料は1人につき1時間600円〜800円としております。

Q 戸嶋議員 1時間800円だとパートの時給と同じように思え、利用するハードルが高い気がするが、そこは考慮しなかったか。

A 福祉課長補佐 保育料や町内・北海道最低賃金を考慮し、また他町村の料金等も参考にしながら事業の収支も勘案し

まして料金設定をさせて頂きました。

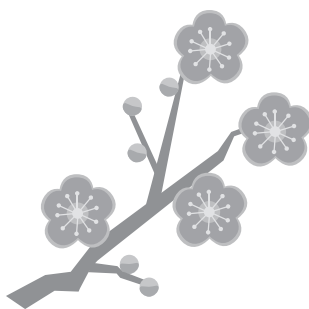
Q 飯田議員 ①この施設は、保健センターで対応できなかったのか。検討はされたのか。
 ②保育所の延長保育後や放課後子ども教室の後でも利用可能か。
 ③受入人数やサポート会員の資格や料金等の運営に関するより細かな要綱や要領的なものは決まっているのか。

A 福祉課長補佐 ①ファミリーサポートセンターの主な事業は児童の一時預かりになりますので、保健センターでは目的とは違う部分がありますので、老人福祉ホームを改築することとしました。
 ②対象年齢が0歳児から中学校就学前の児童としており、それらの終了後の利用も可能となっております。
 ③講習を受けた有資格者は23名いますが、登録されているサポート会員が15名となっておりますので、1人の支援員に対し1人のお子様を預かるという事では、支援員の数を超えることはできません。また資格については、町が実施する講習会を受講することが会員となる条件となっております。

す。なお運営に関する要綱については詳細を別途定めております。

Q 飯田議員 ①の再質疑)保健センターで無理だと判断した具体的理由はなにか。センターには有資格者が居て、緊急の場合などの対応等含めて一番適している場所では無いかと思いますが、例えば増築的なものは考えられなかったのか。

A 福祉課長補佐 一時預かり事業は、夜間・休日も対応することになりますので、保健センターは8時15分から5時15分までの勤務時間となっておりますので、それらに対応するために老人福祉ホームを改築しました。緊急時の対応についても、今月、消防の救命講習を実施し、そういった指導もサポート会員にしています。いき万全の態勢で臨みたいと思います。





Q 伊藤議員 これは即応体制で受け入れてもらえるのか。例えば急にちよつと預かってほしいとなった時に即応的にできる体制となっているのか。
A 福祉課長補佐 センターには携帯電話を持ったコーディネートーターを1名配置しておりますので、こちらの電話に掛けて頂ければ当日でも対応できる体制にはなっております。できれば早めの申し込みが良いいですが、時間も午前8時から午後7時までとじています。が、夜間常識的な時間になると思うのですが、その辺の対応もできますので、今後、申し込み方法等を周知していきたいと思ひます。

■ 職員の給与に関する条例の一部改正
 人事院勧告に基づく給与の改正
【原案可決】

■ 利尻富士町長等の給与等に関する条例の一部改正
 人事院勧告に基づく期末手当の改正
【原案可決】

■ 利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正
 地方税法の改正により町民税及び固定資産税に関する規定の整備に伴う改正
【原案可決】

■ 利尻富士町公園条例の一部改正
 鬼脇地区に完成した公園の名称を「旭ヶ丘公園」とし設置するための改正
【原案可決】

■ 鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更
 交通道路及び情報発信基盤整備事業の事業費の変更に伴う変更
【原案可決】

■ 利尻富士支署消防庁舎庁用

備品の取得契約
 指名競争入札による
 契約金額 1,404万円
 相手方 鴛泊字本町 株式会社 佐藤商店
【原案可決】

各会計補正予算審議

○一般会計補正予算(第4号)
 歳入歳出366万4千円を減額し、総額を49億5,587万8千円と定める

【主な項目】 人件費、低所得者燃料購入費軽減扶助、生活交通路線維持補助金、行幸啓執行経費、介護サービス特別会計繰出金、国民健康保険施設特別会計繰出金など
【原案可決】

質疑

■ 総務費

Q 飯田議員 以前質問しました各自治会への街路灯の関係で、北電に照会し、その内容によって助成の内容等を検討するとの事でしたが、予算計上されていませんので、どういった状況なのかお聞かせ願ひたいと思ひます。

A 総務課長 電力会社から9月に資料を頂き、契約等の内容や設置箇所図面も提供がございました。図面と契約内容を照らし合わせてみますと、目立って特に鬼脇市街地の出力の高い水銀灯が多く見られます。その水銀灯の設置個所の現在の状況を見ますと、そのまま自治会の経費のままが良いのか、これからの資料を基に自治会と協議しながら、町も応分の負担をしなければならぬものもあると思ひております。LED化につきましては、中には自治会でLED化し経費削減している所もございします。そういった電気代の助成も考慮しながら今年度の街路灯施設の精算時期までに自治会と精査しまして対応したいと考えております。また補正予算に計上されていらないとの事ですが、当初予算で50万円上乗せしてありますので、ご理解いただきたいと存じます。

る程度固まっているのであればお聞かせいただきたい。
A 総務課長 まだ全自治会長とは協議しておりませんが、1基ごとか総体の電気料に対してという事ですが、それぞれあると思ひます。今ここで1基に対して何パーセントという答弁はまだできませんので、これからは詰めて、助成に向け持っていきたいと思ひます。

■ 土木費
Q 飯田議員 北見神社前の道から旭ヶ丘パークゴルフ場までの道路がマンホール等があつて非常にガタガタの状態になっております。利用する方に聞いてもちよつと酷いですが、よねという話ですし、整備が必要ではないかと思ひますが、どのように考えているのかお聞かせ願ひます。

A 建設課長 鬼脇パークゴルフ場の前の道路は二股沢川の砂防工事着手した時に工事用道路として北海道が作った道路ですので、町が管理している町道ではありませんので、道路の修繕等については建設管理部にお話をしていきたいと思ひますので、ご理解願ひたいと思ひます。

Q 飯田議員 自治会長と協議しているとのことですが、助成にしても街路灯1基に対して幾らなのか、総体的にかかったお金の何パーセント助成するという形になるのか、あ

Q 飯田議員 状態を見てもらえば分かると思いますが、決していい状態ではありませんので、是非強く要望等をして頂いて事業実施に向けて働きかけをしてもらいたいと思います。できるものであれば北海道から町へ移管を受けることが可能なか答弁をお願いします。

A 建設課長 現道の状況も我々も把握させて頂いて、移管等も含めて建設管理部と協議を進めて参りたいと思います。

■教育費

Q 飯田議員 旭ヶ丘公園が整備され、少しの期間ですが子供さん達も利用していたように見受けておりますが、今後の維持管理はどこで所管するのか。また公園は校舎の前ですの、騒音等の関係なども考えたとき、利用に関する制限等は何があるのか。

A 教委次長 公園の維持管理については、資料館と学校の間と言う事で教育委員会で維持管理していく考えですが、内容につきましては次年度に向けて十分協議していきたいと考えております。利用制限と言う事では、立地的に学校の前面という事で、授業の影

響等を考慮しなければなりません、授業となると児童生徒は勉強中でございます、利用としては保育所の利用が多く考えられると思いますが、保育所の利用であれば先生も一緒に居ますので、その辺は特に問題がないと考えております。学校とも連携しながらやっていきたいと思っております。

Q 飯田議員 全面芝で良い公園となっておりますので、管理も大変でしょうけれども、是非いい形で利用していただければと思います。また、良い公園があるとなれば保育所もそうですけれども、他の例えば島内にある学校や保育所だとか遠足がてらに寄ることもあろうかと思っております。色々な利用も考えられると思いますので、是非管理には万全を期していただきたいと思

A 教委次長 その通りです、万全を期していきたいと思っております。

○温泉事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出254万4千円を追加し、総額を6,182万1

千円と定める
【主な項目】濾過機改修、屋外ポイラー配管修理など

○介護サービス特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出605万3千円を減額し、総額を5億239万8千円と定める

【主な項目】人件費など

【原案可決】

質 疑

Q 飯田議員 現在外構工事が進められており、来年度から本格的に工事にかかり、2020年から供用開始予定となっておりますが、ユニットを導入すると、その他に多床室もシフトも入れながらと言う事ですが、そうなりますと職員の配置の問題も色々あるうかと、懸念されている所はそこだろうと思えますが、この施設にするためにはどういった職員体制になるのか、現時点で分かっている範囲で教えていただきたい。当然、足りないのであれば職員募集の取り組み方、有資格者の関係では、地元で無理だというこ

とであれば島外からと言う事も視野に入れていると思えます。そうなった場合の受け入れ態勢もどのようにするのかお聞かせ頂きたい。

A 秀峰園園長 外構工事につきましては、伐採・抜根といった整地作業はすでに終了しております。職員体制の充実に向けた取り組みでは、今いる職員の研修が第一と考え研修へ出す機会を増やしてあります。今年度はユニット型施設に協力依頼し、実際に1泊2日で経験させております。またユニット型へシフトするに当たりユニットリーダーの設置が義務付けられており、その研修は昨年度から実施しており、これまで4名が受講済みとなっております。介護職員不足が予測されることにつきましては、今年度はスタッフ募集用のパンフレットを作成しまして、道内の介護福祉士を目指せる大学や専門学校、高校、研修養成施設など約30校に求人票とともに送付しており、町のホームページやハローワーク等随時求人は出しているところであります。人数的には、今設計で考えているのは9人のユニット4か所を2階に、1階には従来型

の施設とし14床を考えており、1ユニットに5名の介護員が必要ですので2階で20名、1階の多床室には6名から7名の介護員が必要と、看護師は最低でも5名、また介助員は3名から4名、厨房職員は現在の6名体制で対応できると思っております。最後に入所者にかかる部分については、先日12月の頭に家族説明会を開催しまして、これまでの経緯や今後のスケジュール、料金体制等についてもご説明させて頂き、皆様に一応納得はして貰っている状況です。

Q 飯田議員 せっかく良くする施設ですので、新たなスタートを切るとの気持ちを持って、建物ばかりではなく中身の処遇の問題も含めて、どこから見ても素晴らしい施設になつてもらえるように期待しております。話を聞けば職員的には足りないのははっきりしている訳ですが、スタート時にすでに体制を整えて、万全の体制で臨めるように、人を集めてというのはこれから大変なことだと思いますが、やる以上はそこまで強く考えて進めていただきたいと思いますので、ご決意をもう一度お願



報 告

○教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告

○国民健康保険施設特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出723万6千円を追加し、総額を7,957万3千円と定める
【主な項目】人件費、医療機器借上料など

【原案可決】

いします。
A 秀峰園園長 おつしやる通りだと思えます。供用開始に向けてはこれから解決していかねければならないことが沢山あると思えますので、理事者とも協議・相談いたしました。何とか目途が立てるように頑張っていきたいと思っております。

行政報告

- 1.利尻空港利用状況
- 2.上期観光客入込客数
- 3.全日空本社訪問
- 4.台湾観光プロモーション
- 5.低所得者燃料購入軽減扶助費支給事業
- 6.北海道遺産に選定

	9月	10月	11月
JAL (HAC)	1,875人	2,160人	1,900人
搭乗率	72.3%	88.2%	88.0%
(前年同月比)	(232人)	(155人)	(183人)
ANA	4,024人		
搭乗率	57.0%		
(前年同月比)	(△455人)		

■平成30年上期観光入込数

4～9月 121,300人（前年比9,500人減）

■全日空本社への訪問について

10月12日利礼3町長で今年度の就航お礼と来年度以降の運行について要望。来年も6月から9月の4か月間季節運航されます。

■台湾観光プロモーションについて

12月3日から6日の日程で、利礼3町の町長、観光協会長、観光協会事務局、ホテル関係者など16名とハートランドフェリー1名の計17名の参加で、うち利尻富士町からは7名が参加。旅行会社や航空会社、報道等へ意見交換会や利尻礼文観光説明会等を実施。

■低所得者燃料購入軽減扶助費支給事業について

灯油単価が100円を上回っていることから、1世帯2万円と1万円をそれぞれ経済的負担が軽減されるよう支給することとし、12月中に支給する予定。

■北海道遺産の選定について

利尻島内には漁業と移住、そして開拓の歴史を今に物語る漁業等の産業遺産群や文化財があり、これらを観光や社会教育などに活用する仕組みを構築するため、漁業等産業遺産利活用事業に取り組んでいた。その一環として、北海道遺産第3回選定募集に「利尻島の漁業遺産群と生活文化～海の道がつくりあげたヒトとモノの交流史～」として申請し、この度認定され、11月1日に認定書が交付されました。北海道遺産には64件の申請があり、その中で15件が選定されており、今回の遺産群については、非常に上位の方で選定されたということで、今後、観光にも繋がるよう活動して参りたい。



利尻島の漁業遺産群と生活文化 ～海の道がつくりあげたヒトとモノの交流史～



日本最北の利尻島には、近世以降の漁業と移住の歴史を物語る漁業遺産群がある。近世には松前藩、近江商人による交易場所がおかれ、アイヌがそれを支えた。島には、豊漁や航海安全を祈る神社や奉納物が残る。幕末以降は出稼漁民が松前や青森、秋田から渡り漁場を拓いた。その記憶は袋潤や番屋に、生活文化の名残は石碑や獅子舞などに込められた。島の産物は、鯨、昆布、海鼠、鮑などであった。とくに鯨は、メバ、身欠き鯨として本州に北前船で運ばれた。利尻島を行き来する海の道は「ヒトは北へ、モノは南へ」という交流史をつくりあげた。

〈選定理由〉

この遺産は、我が国最北端の離島（礼文島含む）で展開された近世からの漁業中心の海産物（昆布、魚介類）生産と海運を基盤とした交流により形成された北海道の開拓ストーリーのひとつです。今も交流史を体現する歴史文化遺産が豊富に遺されており、観光や社会教育のアプローチから島全体で保全活用するプランの将来性が豊かであり、地域づくりへの活用といったシェアリングヘリテージに期待します。

編集後記

年が明けて元号が変わるまであと2カ月となりました。寒さが厳しい中、町民の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。役場では新年度の予算編成等で忙しくしており、更なる住民サービスの向上やより良いまちづくりのため奮闘しているところです。昨年はクマ騒動に始まり天皇皇后両陛下のご来島、さらには地震や災害など色々ありましたが、今年は5月1日の改元に向け、日本全体が祝賀ムードに覆われることと思います。そして今年には選挙の年でもあります。4月には北海道知事・道議会議員、7月には参議院議員の選挙が予定されています。特に知事選挙では現職の知事が不出馬を表明しており、新しい知事を選ぶ大切な選挙となりますので、町民の皆様におかれましては、是非大切な1票を投じていただきたいと思います。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって良い年である事をご祈念いたします。

広報・広聴常任委員会一同

議会に行こう!

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や行政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／佐々木 勝
副委員長／白戸 浩明
委員／安楽 昌弘 藤井孝二郎
伊藤 信勝 戸嶋 郁夫
岡本 晴樹 飯田 睦穂
前田 芳久

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

委員会レポート

■広報・広聴常任委員会（11月16日）

- ・議会だよりNo.181の編集についての協議

■議会運営委員会（12月6日）

- ・定例会12月会議の運営についての協議

【今後の調査事項の予定】

- 利尻富士支署消防庁舎建設工事現況調査など
- 平成31年度一部事務組合予算の概要調査など

〈ひとくちメモ〉

常任委員会での調査権～（解説）調査とは、「調査事項の実態を把握し、分析し検討して問題点を捉え、それらの問題点を改善し改革するにはどのような措置を講ずればよいか、採るべき対策なり政策を究明して結論を出すこと」とされ、問題点に対する改善策と対応策を結論づけることが調査の究極の目的とされています。※議員必携抜粋

【議会の予定】

- 第1回定例会3月会議 3月6日～8日
（執行方針、新年度予算審議他）

議会日誌

- 11月16日 広報・広聴常任委員会
- 11月16日 議員会総会
- 11月18日 自民党移動政調会（稚内市）
- 11月20日 離島市町村議会議長会全国大会（東京都）
- 11月21日 町村議会議長会全国大会（東京都）
- 11月22日 宗谷町村議長会先進地視察（山形県他）
- 11月23日 新嘗感謝祭
- 12月2日 歳末チャリティ演芸会
- 12月6日 第4回議会運営委員会

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

議会議長あての文書は直接議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、日程等の調整をする必要がありますので、恐れ入りますが直接議会事務局へお送り願います。

- 送付先：利尻富士町役場3F 利尻富士町議会事務局（議会議長）宛
直通電話：(0163)82-2512
× - ル：gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp